



## カナダ産 OSB を壁に採用 高性能の住宅づくりに OSB を活かす

北海道・十勝は、高品質な住宅を手掛ける地元ビルダーが信頼を獲得している地域として、全国的に注目されている。一年の寒暖差が 60℃ もある地域にありながらも室内の快適さは異次元で、全国トップクラスの住み心地を実現している。住宅の性能にこだわりつつ、スタイリッシュな住空間を提供しているのが Cryptn。高性能の住宅づくりに適した素材として、同社にカナダ産 OSB が選ばれている。



ツーバイフォー工法と OSB で木造三階建て共同住宅も



同社の住宅は高いデザイン性が特徴だが、カナダ産 OSB を活用して性能にこだわっている

### 日本の住宅は寒すぎる

WHO（世界保健機関）が推奨する冬季の室温は 18℃ 以上。この健康的な室温を維持できない住宅がまだまだ日本には多く、冬に暖かい住宅が当たり前という認識に変わらない限りヒートショックの危険は解消されない。

「十勝では、暖かい家づくりが大前提です。そのうえで、できるだけゼロエネルギーに近い建物を



提供したいと考えています」と竹市真巳社長（顔写真）。冬季の日射取得を考慮して南面の開口部を大きくとりつつ、北面や東西面はトリプルガラスの樹脂サッシでコンパクトに仕上げるのが同社の住宅づくりの基本になる。

同社では断熱・気密性能を上げやすいツーバイフォー工法を採用。2×6材の壁厚を利用して高性能グラスウール 16k を 140mm 充填し、さらにウレタンボード 30mm や 50mm といった付加断熱を施工する。

### 価格と流通性でカナダ産 OSB

壁の面材には 3×8 サイズ 9mm 厚のカナダ産 OSB を採用する。「カナダ産 OSB は価格が割安で流通性がよく、入手しやすい材料です。性能もよくなって使い勝手がよく、問題なく使用できます」（竹市社長）。経済性は住宅づくりにおける大切な要素なので、割安な価格は強みになる。

現場では、フレームを組んで躯体を作成してから OSB を壁に張っていく。長尺の 3×9、3×10 サイズもカナダ産 OSB は入手しやすく、施工性向上に寄与する。このカナダ産 OSB を使った高い精度の躯体に、隙間がないよう丁寧に気密層を施工する。「気密と断熱の両立が大切で、特に窓回りの処理が重要です」（同）。そのうえで適切な換気システムを設置し、壁体内結露と室内の結露を防止。高水準の断熱気密性能の建物にセントラルヒーティングを組み合わせることで、家中どこでも暖かい快適な住宅になる。

### 快適さと省エネを両立させる

記録的な寒波や燃料費高騰により、今年は住宅の質についてあらためて考えさせられる年となった。快適な暮らしと省エネルギーの両立は住まい手の満足につながり、受注を増やす原動力となる。竹市社長は、高性能な住宅づくりに真摯に取り組む十勝 2×4 協会の会長を務める。「ゼロカーボンは世界の流れですし、日本の政策でもあります。性能が低い建物を提供するのは、お客様に対してまやかしになるかもしれません」と竹市社長。今後はゼロカーボン達成に向け太陽光発電の活用や HEAT20 G3 相当の断熱性能の提案も視野に入れ、高性能の家づくりにカナダ産 OSB を活用していく。



### 株式会社 Cryptn（クリプトン）

本社：北海道帯広市西 3 条南 1-15

代表：竹市 真巳（代表取締役）

HP：www.cryptn.net

電話：0155-67-8007

2016 年創業。住宅や店舗の新築、リノベーションなどを手掛ける。このほど完工 100 棟を突破した。